

# 自他理解の深まりと仲間意識を高める自己プレゼン

## ——令和2年度秋学期・令和3年度春学期及び秋学期における 「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」の 授業を振り返って——

山本 信幸\*

キーワード：自他理解、自己実現、自己有用感、互いのよさや個性、  
仲間意識、仲間づくり、特別活動における学習指導要領の趣旨、  
学生アンケートの分析と授業感想、授業内で仲間づくり、  
自己プレゼンの効果

「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」のうち、「特別活動の指導法」において、特別活動の視点である自己実現と人間関係形成の重要性を学ばせることをめざし、自己紹介プレゼンテーションを授業内で実施している。その実践を通して、自他理解の深まりと仲間意識の高まりを図ることができたかを検証する。

「自己実現」の観点では、自己紹介プレゼンテーションを作成することで自他理解を深め、その発表から互いのよさや個性を理解し合わせる。「人間関係形成」の観点では、プレゼン発表から学生同士が互いのよさや個性を知り合い、仲間意識の高まりから仲間づくりの楽しさを味わわせる。

本稿では、学生のアンケートの分析と授業感想から自己紹介プレゼンテーション（自己プレゼン）の効果について論じる。

### はじめに

義務教育現場の実務経験者として、学生への指導を担当して5年目。令和3年度の授業担当に「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」がある。本稿では、「特別活動の指導法」で実践している学生による自己紹介プレゼンテーション（以下、自己プレゼンと称する）の実態を紹介し、学生アンケートと授業感想の分析からその効果を検証する。

大学の授業を担当して気になったことが、授業内において孤独を感じていると推察される学生の存在である。本学の教職履修は、他学部他学科の学生と共に受講するため、学生

\*やまもと のぶゆき 教職支援センター 本学非常勤講師